

特集◎新年度予算

市では、一般会計という最も大きな「お財布」のほかに、13の特別会計と2の企業会計という「別のお財布」を持っています。

特別会計

同和地区住宅新築資金等貸付事業

同和地区の環境整備として貸し付けた新築資金の償還を処理する会計。現在は新たな貸し付けはなく、過去の償還事務のみを行っています。

国民健康保険

市が運営している社会保険制度で、自営業者などが加入しています。来年度からは、保険者が健康診断(特定健診)を行うように医療制度が改正されたため、その予算が増額したほか、療養給付費の増加により、予算額も大きくなっています。

老人保健

75歳以上の高齢者等の医療負担を軽くし、医療を受けられるようにするために市が運営するものです。本年度からは後期高齢者医療保険制度に切り替わる

ため、一時的な継続を経て、平成22年度末には廃止となる予定です。

付費、施設介護サービス給付費とも増加傾向にあります。

産業団地造成事業
あづみ野産業団地、青木花見産業団地の分譲を行うものです。

企業会計

水道事業会計

水道の給水、排水、給水施設の管理運営を行うものです。

市営宿舎事業会計

しやくなげ荘、有明荘、大天荘の管理運営を行うものです。指定管理者制度に移したため、日常の経費は指定管理者の経理で行われ、予算額は減っています。

後期高齢者医療

高齢化の進展に伴い、これまでの老人保健制度にかわり創設されました。医療費等の給付は、「長野県後期高齢者医療広域連合」が行いますが、市では保険料の徴収や広域連合への納付金の処理を行います。

介護保険

40歳以上の人、全員を被保険者とし、介護サービス給付を行う公的社会保障制度を運営するものです。居宅介護サービス給

山林財産区

市内5つの山林財産区の維持管理を行うものです。

農業集落排水事業

穂高地域以外は、下水道整備がほぼ完了したため、下水道整備費が減少しています。

各会計予算額一覧

会計名	予算額	前年度比(%)
一般会計	335億2000万円	3.1
特別会計合計	237億1400万円	△21.8
同和地区住宅新築資金等貸付事業	482万円	△38.4
国民健康保険	96億7416万円	6.7
老人保健	14億1098万円	△84.0
後期高齢者医療	8億2664万円	皆増
介護保険	58億4032万円	2.9
下水道事業	53億6565万円	△12.2
農業集落排水事業	1億9901万円	△4.1
上川手山林財産区	185万円	7.3
北の沢山林財産区	86万円	50.3
有明山林財産区	40万円	△67.2
富士尾沢山林財産区	39万円	△38.8
穂高山林財産区	44万円	△25.2
産業団地造成事業	3億8847万円	△13.8

企業会計		
水道事業	収益的収入	20億3531万円 △0.0
	支出	19億6988万円 △0.8
	資本的収入	8億16万円 174.6
市営宿舎事業会計	収益的収入	2400万円 △92.0
	支出	2300万円 △92.3
	資本的収入	0
	支出	945万円 △21.3

※1万円未満は切捨てて掲載

穂高交流学習センター

市民の心触れ合う拠点として

市民の学習や交流、心の触れ合う拠点として活用が期待される穂高交流学習センターの起工式が行われました。



起工式でくわ入れをする平林市長。式辞では「活気に満ちた魅力的なまちづくりと心が触れ合う拠点として利用してほしい」と述べた

穂高交流学習センター建設工事の起工式が3月26日、三枚橋公園に隣接する建設地で行われました。

この日は、平林市長をはじめ市議会議員・工事関係者など約90人が参加。市長は「図書館を核とした複合型生涯学習施設のあり方について、合併前からさまざまな研究・検討を行い、準備を進めてきました。この施設で、皆さんが情報や知識を得て、さまざまな交流が進み、活気に満ちた魅力的なまちづくりと心が触れ合う拠点として利用してほしい」とあいさつしました。

この交流学習センターは、全市的図書館システムの中核的な機能を有する中央図書館として、開架15万冊、閉架5万冊の合計20万冊以上の蔵書数を備えるほか、地域学習館としての機能と

して「収集・保存」「活用・学習」「発表・展示・顕彰」のスペースを設け、200席の可動式座席を備えた多目的交流ホールも併設されます。このホールは、市民の音楽鑑賞や、発表会などにも利用できます。

建物は、鉄骨造一部二階建てで、誰もが使いやすいようにユニバーサルデザインを採用しています。

敷地面積は、1万2,957.84平方メートル、建物の延べ面積は、4,188.70平方メートルです。また、総事業費は、図書購入費などを含めると21億3,800万円です。

完成は、平成21年6月の予定です。今後は交流学習センターの運営方法のほか、ソフト面の検討を進める予定です。

穂高有明の上水道施設が完成

上水道



関係者による通水セレモニー

平成16年から有明地域で実施していた上水道施設整備事業(第5次拡張第3期分)のしゅん工式が3月27日、宮城水源地で行われました。しゅん工式には地元の区長をはじめ、県・市の議員など関係者約70人が出席。市長は「生活に欠くことのできない水を、安全・安心・安定的に供給できるよう今後も努めてまいりたい」とあいさつしました。これにより、該当地域の水道水の安定供給が可能となりました。総事業費は約23億1,400万円です。